

エコアクション21

環境経営レポート

(運用期間:2023年4月1日～2023年10月31日)



作成日:2024年6月20日

有限会社 袴田建設

環境レポート 目次

1 組織の概要	1
2 環境経営方針	2
3 実施体制組織図	3
4 環境経営目標	4
5 環境経営計画	5
6 環境経営目標実績結果	7
7 環境経営目標実績結果(グラフ)	8
8 環境経営目標実績結果(コメント)	9
9 環境経営計画の評価と次年度の取組内容	10
10 環境関連法規への違反、訴訟等の有無の実績と評価	11
11 環境コミュニケーション	12
12 代表者による全体評価と見直しの結果	13

1 組織の概要

1. 事業者名及び代表者名

有限会社 袴田建設 代表取締役 袴田 直孝

2. 所在地

本社:静岡県湖西市新居町中之郷1599番地の4
資材置場:

3. 設立年月日 平成9年12月24日

4. 資本金 2,000万円

5. 連絡先

TEL:053-594-4356 FAX:053-594-4340
E-mail:hakamatakensetu@ai.tnc.ne.jp

6. 事業内容

総合建設業(建築一式、土木一式、とび・土工、石、管、鋼構造物、舗装、しゅんせつ、塗装、造園
水道施設、解体)

【許可一覧】

許可の種類	許可番号	許可年月日	有効年月日
建設業許可	静岡県知事許可(般・特-02)第33485号	令和2年5月29日	令和7年5月28日
宅地建物取引業免許	静岡県知事 (2) 第13868号	令和3年7月20日	令和8年7月19日
※産業廃棄物収集運搬業許可	静岡県知事 第02201127454号	令和3年5月30日	令和8年5月29日

※自社運搬のみ

7. 事業の規模

2023年度事業規模(2022年11月～2023年10月)

売上高	305百万円/年
工事件数	工事件数/年 47件
従業員数	5名
敷地面積	58㎡

2 環境経営方針

【企業理念】

有限会社袴田建設は、建設工事の事業活動において環境の保全を意識し、環境に優しい経営を進めるとともに、地域社会に貢献する企業を目指す活動に取り組みます。

【行動指針】

1. 事業活動が環境に与える影響を把握し、環境保全に視点を置いた活動を推進します。

- ①建設工事は環境に配慮した工事を実施します。
- ②建設リサイクル法による適正処理をします。
- ③グリーン購入を推進します。
- ④CO2削減のため省エネ活動に取り組みます。
- ⑤廃棄物の削減活動と再資源化推進の活動に取り組みます。
- ⑥水資源を有効活用し、節水に努めます。

2. 環境に配慮した活動の目標を設定し、環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況を定期的に確認、評価し、環境経営システムを継続的に改善します。

3. 環境に関する法規制及び協定を遵守します。

4. 全社員に環境経営方針への理解を周知徹底し、環境問題への意識向上を図ります。

制定年月日 2023年3月20日

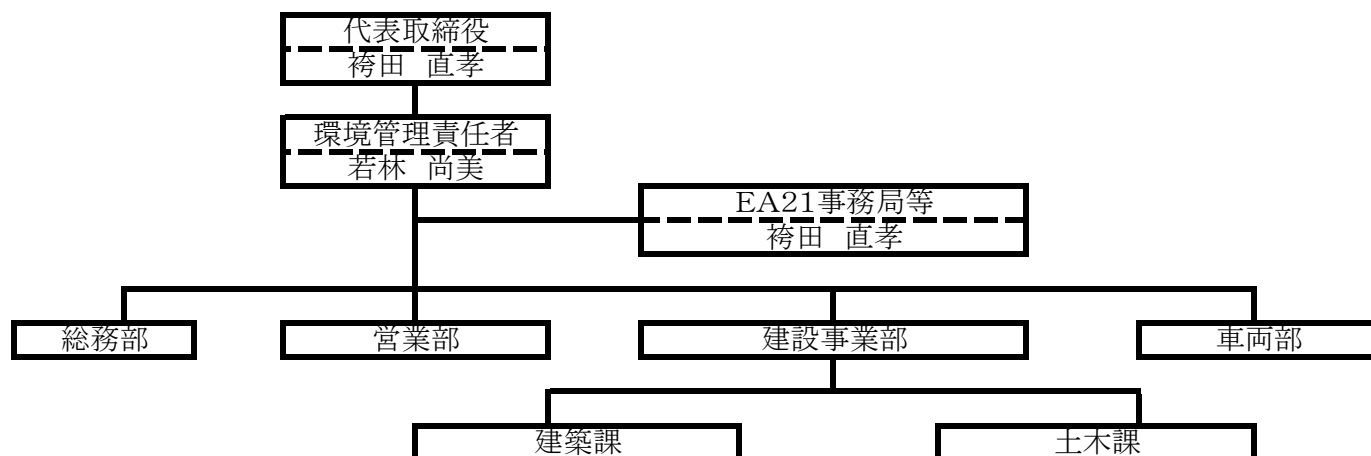
有限会社 袴田建設

代表取締役 袴田 直孝

3 実施体制組織

作成日 2023年3月20日

作成者 袴田 直孝



※全従業員は、当社に構築された環境経営システムを理解し、策定された環境経営方針の下、環境経営目標の達成に向けて、環境経営計画に基づき一致協力して環境取組を行う。

役割、責任及び権限一覧

担 当	内 容
代表取締役	① 環境経営システムに関する全ての責任と運用についての権限を持つ。
	② 環境経営システムの構築・運用・管理に必要な資源を用意する。(資源には、人材、設備、費用、時間、専門的な技能、技術を含む。)
	③ 環境管理責任者を任命する。
	④ 環境経営方針の策定・見直し及び従業員への周知を行なう。
	⑤ 代表者による全体の評価と見直しを実施する。
環境管理責任者	① 環境経営システムを構築し、実施し、管理する。
	② 作成された環境への負荷及び取組の自己チェックを確認し承認する。
	③ 法規制等の遵守状況をチェックする。
	④ 環境経営方針及び自己チェック等に基づき環境経営目標を設定し、作成された環境経営計画を確認し承認する。
	⑤ 環境活動の取組状況を確認し、環境経営目標の達成状況を評価する
	⑥ 問題点の是正、予防処置に対する指示と改善や見直しに必要な処置を行なう。
	⑦ 環境活動の取組結果を代表者へ報告する。
	⑧ EA21に関する運用管理の体制を構築し、各責任者を任命する。
各部門長及び	① 責任範囲の環境経営目標及び環境経営計画の実施とEA21事務局への達成状況の報告をする。
工事現場代理人	② 責任範囲の問題点の発見、是正、予防処置をとる。
EA21事務局	① 環境経営システム運営のすべての事務を行なう。
	② 環境への負荷及び取組の自己チェックを作成し、環境管理責任者へ報告する。
	③ 「環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェックリスト」を作成し、環境管理責任者へ報告する。
	④ 環境活動計画並びに運用手順書を作成し、実施達成状況を集計し、環境管理責任者へ報告する。
	⑤ 文書及び記録の管理保管をする。
	⑥ 外部コミュニケーションの窓口となる。
	⑦ 内部コミュニケーションの運営管理をする。
	⑧ 従業員に対する教育訓練の実施をする。
	⑨ 想定された緊急事態に対する項目の手順書作成、テスト・訓練・記録をする。

4 環境経営目標

1. 運用期間(2023年4月～2023年10月)

※使用量及び排出量は現場も含む

環境目標項目		単位	暫定期間		
			2022年4月～ 2022年10月	2023年4月～ 2023年10月	
			基準値	目標削減率	目標値
①施工に関する取組	環境配慮の工法提案		実施	環境に配慮した工法の提案、環境負荷の少ない材料使用、再生利用可能な構造に努める。	
	環境負荷の少ない材料使用				
	再生利用可能な構造提案				
②グリーン購入	グリーン購入		実施	建設資材等、グリーン購入に努める。	
③エネルギー使用量の削減	電力使用量	kwh	2867.00	-1%	2,838.33
	ガソリン使用量	L	2926.49	-1%	2897.23
	軽油使用量	L	3782.04	-1%	3744.22
	灯油使用量	L	0.00	-1%	0.00
	ガス使用量	kg	74.70	-1%	73.95
④二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1112.40	-1%	1101.28
	電力の二酸化炭素排出量/ 売上高(百万円)	kg-CO ₂ /売上 高(百万円)	—	-1%	—
	化石燃料の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	16771.22	-1%	16603.51
	化石燃料の二酸化炭素排出量/売上高 (百万円)	kg-CO ₂ /売上 高(百万円)	—	-1%	—
⑤廃棄物の削減	再資源化率	%	100		95
⑥水使用量の削減	水道水 工業用水	m ³	166.00	-1%	164.34
⑦社会貢献			実施	会社周辺の毎年1回の清掃	

<備考>

1. 基準年度実績に対して目標設定

2. 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)は、R3年度実績、R5.1.24環境省・経済産業省公表の中部電力(株)の調整後の排出係数である「0.388kg-CO₂/kwh」を使用しました。

4 環境経営目標

2. 中期の環境目標

◆2022年度(2021年11月1日～2022年10月30日)……基準年度

※使用量及び排出量は現場も含む

環境目標項目		単位	基準値	目標年度					
			2022年度	2024年度		2025年度		2026年度	
			2021年11月 ～ 2022年10月	2023年11月 ～ 2024年10月		2024年11月 ～ 2025年10月		2025年11月 ～ 2026年10月	
				削減率	目標値	削減率	目標値	削減率	目標値
①施工に関する取組	環境配慮の工法提案		実施	環境に配慮した工法の提案、環境負荷の少ない材料使用、再生利用可能な構造に努める。					
	環境負荷の少ない材料使用								
	再生利用可能な構造提案								
②グリーン購入	グリーン購入		実施	建設資材等、グリーン購入に努める。					
③エネルギー使用量の削減	電力使用量	kwh	5156.00	-1%	5104.44	-2%	5052.88	-3%	5001.32
	ガソリン使用量	L	4447.77	-1%	4403.29	-2%	4358.81	-3%	4314.34
	軽油使用量	L	6015.78	-1%	5955.62	-2%	5895.46	-3%	5835.31
	灯油使用量	L	0.00	-1%	0.00	-2%	0.00	-3%	0.00
	ガス使用量	kg	157.40	-1%	155.83	-2%	154.25	-3%	152.68
④二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	2140.21	-1%	2118.81	-2%	2097.41	-3%	2076.00
	電力の二酸化炭素排出量/売上高(百万円)	kg-CO ₂ /売上高(百万円)	17.98	-1%	17.80	-2%	17.62	-3%	17.44
	化石燃料の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	26311.74	-1%	26048.62	-2%	25785.51	-3%	25522.39
	化石燃料の二酸化炭素排出量/売上高(百万円)	kg-CO ₂ /売上高(百万円)	221.10	-1%	218.89	-2%	216.68	-3%	214.47
⑤廃棄物の削減	再資源化率	%	100		95		95		95
⑥水使用量の削減	水道水 工業用水	m ³	347	-1%	344	-2%	340	-3%	337
⑦社会貢献			実施	会社近隣の公園の年2回の除草作業		会社近隣の公園の年2回の除草作業		会社近隣の公園の年2回の除草作業	

<備考>

1. 基準年度実績に対して目標設定
2. 電気事業者別排出係数(特定排出者の温室効果ガス排出量算定用)は、R3年度実績、R5.1.24環境省・経済産業省公表の中部電力(株)の調整後の排出係数である「0.388kg-CO₂/kwh」を使用しました。

5 環境経営計画

5-1. 全体での環境への取組計画表

(運用期間:2023年4月～2023年10月)

環境への取組		具体的な取組内容	スケジュール							担当者
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
①施工に関する取組み		◆ 建設現場等周辺の自然との共生と調和の指向								堀内孝夫
		◆ 建築物・工作物等の長寿命化の指向								
		◆ 建築物・工作物等の使用過程でのエネルギーの削減と省資源化指向								
		◆ 再生資源の積極的利用								
		◆ リサイクルしやすいよう、建築物・工作物の構造の指向								
		◆ 購入する資材の仕様の変更による端材等の削減								
		◆ 環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化への取組(合板型枠等の木材の使用合理化、高炉セメント、エコセメント、再生素材の積極的使用等)								
		◆ 環境にやさしい施工や工法の採用								
		◆ 有害性の化学物質の含有量が少ない資材の使用								
		◆ 塩素系有機溶剤等の削減、代替物質への転換								
		◆ 地域の自然環境との調和に配慮し、生態系や景観の保全の指向								
②グリーン購入		◆ 社用車について、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車等の低公害車への切り換え								堀内孝夫
		◆ 再生可能、有害性の化学物質の含有量が少ない等の建設資材等の購入								
		◆ 環境ラベル認定等製品の優先的購入								
		◆ 省エネルギー基準適合製品の購入								
		◆ 再生材料から作られた製品の優先的購入、使用								
		◆ 間伐材、未利用資源等を利用した製品の積極的購入、使用								
		◆ 無漂白製品(衣料品等)、水性塗料等の環境への負荷の少ない製品の優先的購入、使用								
		◆ 修理や部品交換が可能で、部品の再使用、素材の再生利用が容易な設計の製品の優先的購入、使用								
		◆ 節水型の家電製品、水洗トイレ等を積極的購入								
		◆ コピー用紙、コンピューター用紙、伝票、事務用箋、印刷物、パンフレット、トイレトペーパー、名刺等の紙の生紙または未利用繊維への転換								
		◆ 事務所の照明は、昼休み、残業時等不必要な時の消灯								
③二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	◆ ロッカー室や倉庫、作業休憩所、使用頻度が低いトイレ等の照明の普段は消灯し、使用時のみ点灯								堀内孝夫
		◆ パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定								
		◆ 夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源の切断								
		◆ 空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)の徹底								
		◆ 使用していない部屋の空調の停止								
		◆ ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りの調節実施								
		◆ 夏季における軽装(クールビズ)、冬季における重ね着等服装の工夫(ウォームビズ)の徹底								
		◆ 照明器具の定期的な清掃、交換を行う等の適正管理								
		◆ 空調機のフィルターの定期的清掃、交換を行う等の適正管理								
		◆ 空調の必要な区域や時間限定的使用								
		◆ 電力不要時の負荷遮断、変圧器の遮断								
④エネルギー使用量の削減、車両整備・管理	工事現場	◆ 外気温度が概ね20～27度の中期間における全熱交換器(換気をしながら、冷暖房の熱を回収して再利用する設備)のバイパス運転(普通換気モード、中間期制御運転、熱交換ローター停止)及び窓の開閉等により外気取り入れ量の調整による室温調節								堀内孝夫
		◆ 共用のコンピューター等の電源の管理担当者或使用上のルール設定による適正管理								
		◆ 建設現場の作業規模に応じた建設機械等の種類や規格を用いることによるエネルギー消費の抑制								
		◆ アクティビティやアロー、フロート等の見直し、施工期間の短縮								
		◆ 運搬計画の見直し、エネルギー消費の少ない運搬の実施								
		◆ エコドライブ運転の推進(急発進・急停車の防止)								
		◆ タイヤの空気圧を定期的な確認								
		◆ 施工方法や作業方法を見直し、エネルギーの効率的利用								
		◆ 建設機械等の作業における過剰な負荷の抑制								
		◆ 建設機械等の作業停止時におけるエンジン停止								
		◆ 建設機械等の定期的自主点検及び施工開始時等における点検の実施								
⑤水使用量の削減		◆ 建設機械等整備における環境に配慮した整備の実施								堀内孝夫
		◆ 建設機械等の過積載運転の抑制の徹底								
		◆ 建設機械等に使用する燃料やオイルの環境に配慮した製品の使用								
		◆ 建設設備機器の無駄や無理のない運転の励行								
		◆ 舗装工事の舗装で使用する散水用の水の排水路水や雨水等の利用								
		◆ 街路樹や公園緑化の植栽工事で使用する散水用の水の排水路水や雨水等の利用								
		◆ 手洗い・時、洗い・物における日常的な節水の励行								
		◆ 建設機械等の洗車する場合における事前の泥等の除去の実施								
		◆ 洗車する場合の節水の励行(社用車の洗車を必要最小限に留める。)								
		◆ 水道配管からの漏水の定期的点検の実施								
		◆ 洗車等に使用するホースの先へのストッパー取り付け								
⑥廃棄物の削減、リサイクルへの推進		◆ 施工管理の出来型管理計画時における設計基準への上乗せした自主基準の設定による生コンクリートやアスファルト・コンクリートの廃棄の抑制								堀内孝夫
		◆ 建設資材発注時における使用数量の再チェックによる残余建設資材の廃棄の抑制								
		◆ 施工温度の影響による品質劣化を防ぐため温度管理の徹底								
		◆ 品質劣化等による不良在庫を減らすための在庫数量の適正化等在庫管理の徹底								
		◆ 使い捨て製品(紙コップ、使い捨て容器入りの弁当等)の使用や購入の抑制								
		◆ リターナブル容器(ビール瓶、一升瓶等)に入った製品の優先的購入及び使用								
		◆ 再使用またはリサイクルしやすい製品の優先購入及び使用								
		◆ 詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等による製品等の長期使用の推進								
		◆ コピー機、パソコン、プリンター等のリサイクルしやすい素材を使用した製品の購入								
		◆ 商品の購入時における簡易包装の物の優先的購入								
		◆ 故障OA機器等の修理による長期使用の励行								

5 環境経営計画

5-2. 事務所及び現場での環境への取組計画表

<事務所>

計 画 内 容	日 程												責 任 者	その他
	2022年		2023年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月		
・ 事務所内の節電・節水管理 (空調、照明機器の点検)													若林 尚美	
・ 事務用品のエコ商品の推進 ・ 消耗品の節約管理													若林 尚美	
・ 営業車両のエコ運転管理													堀内 孝夫	
・ 営業車両の低燃費車への切り替え													堀内 孝夫	
・ 省燃費運転の講習会 (安全運転講習も含む)														

<現 場>

計 画 内 容	日 程												責任者	その他	
	2022年		2023年												
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月			
・ 現場での節電・節水管理														堀内 孝夫	
・ 運搬車両エコ運転管理														堀内 孝夫	
・ 重機のエコ運転管理														堀内 孝夫	
・ 運搬車両・重機の低燃費車への切り替え	車両入替時												堀内 孝夫		
・ 省燃費運転の講習会 (安全運転講習も含む)															

6 環境経営目標実績結果

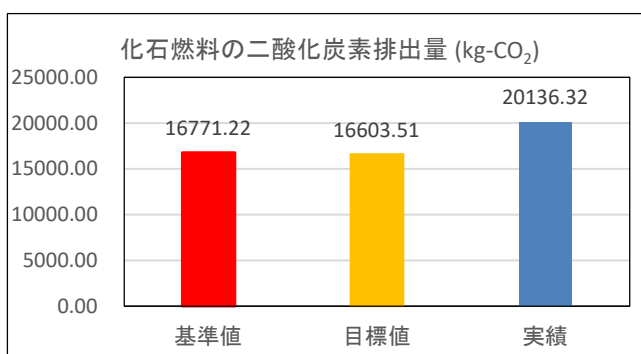
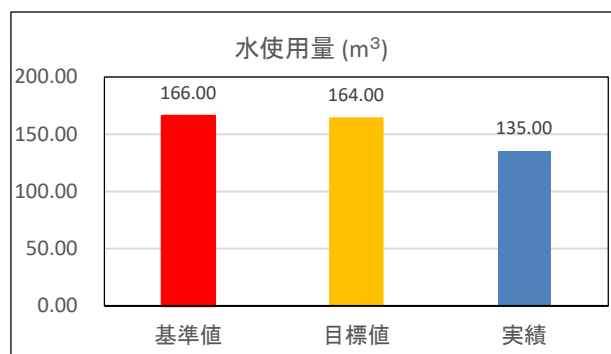
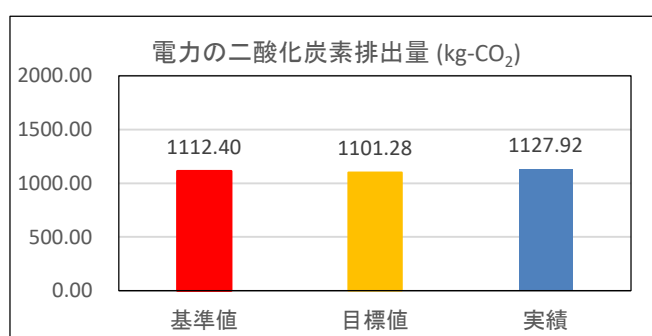
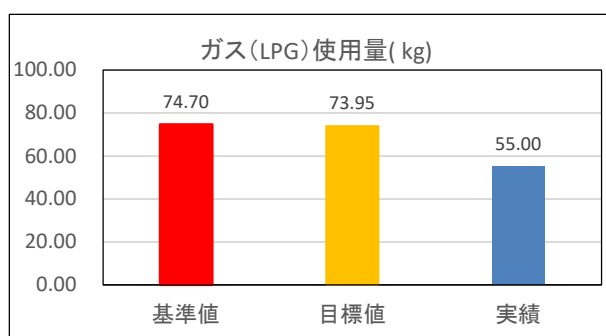
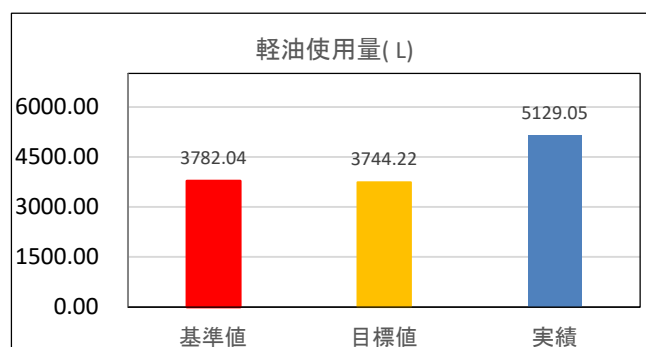
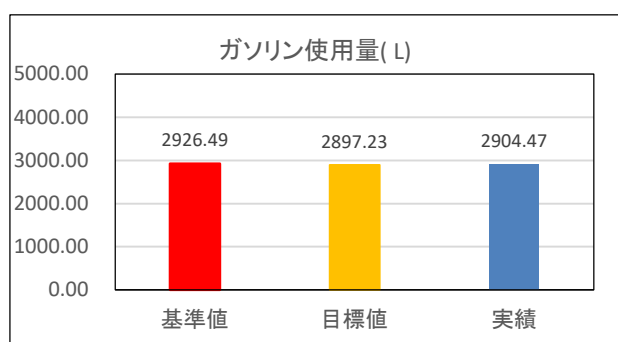
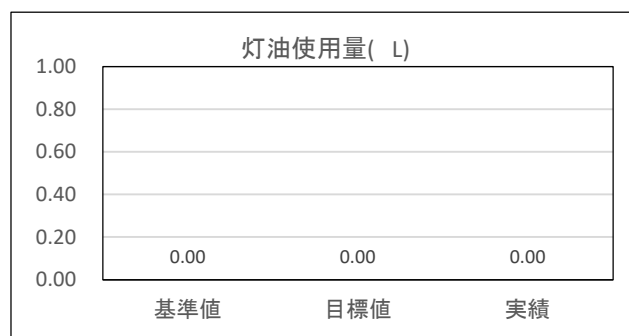
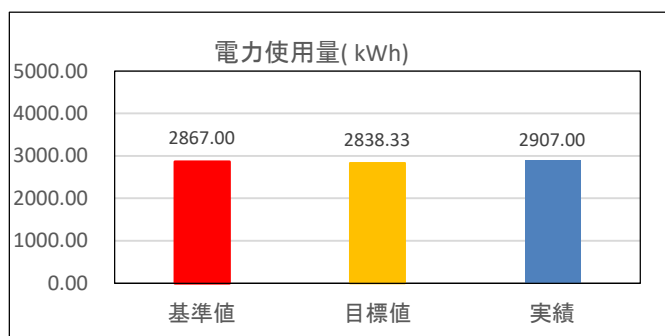
環境実績結果

※使用量及び排出量は現場も含む

環境目標項目		単位	基準期間	運用期間			評価
			2022年4月 ～ 2022年10月	2023年4月～2023年10月			
				目標削減率	目標値	実績値	
①施工に関する取組	環境配慮の工法提案		実施	環境に配慮した工法の提案、環境負荷の少ない材料使用、再生利用可能な構造に努めることとする。		出来る限り環境に配慮した工法の提案等に努めることが出来た。	○
	環境負荷の少ない材料使用						
	再生利用可能な構造提案						
②グリーン購入	グリーン購入		実施	建設資材等、グリーン購入に努める。		購入時点での商品選択を心がけることで、かなり高い比率で購入が出来た。	○
③エネルギー使用量の削減	電力使用量	kwh	2867.00	-1%	2838.33	2,907.00	×
	ガソリン使用量	L	2926.49	-1%	2897.23	2904.47	×
	軽油使用量	L	3782.04	-1%	3744.22	5129.05	×
	灯油使用量	L	0.00	-1%	0.00	0.00	○
	ガス使用量	kg	74.70	-1%	73.95	55.00	○
④二酸化炭素排出量の削減	電力の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	1112.40	-1%	1101.28	1127.92	×
	電力の二酸化炭素排出量/売上高(百万円)	kg-CO ₂ /売上高(百万円)	—	-1%	—	—	
	化石燃料の二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	16771.22	-1%	16603.51	20136.32	
	化石燃料の二酸化炭素排出量/売上高(百万円)	kg-CO ₂ /売上高(百万円)	—	-1%	—	—	
⑤廃棄物の削減	再資源化率	%	100.00		95.00	100.00	○
⑥水使用量の削減	水道水 工業用水	m ³	166.00	-1%	164	135.00	○
⑦社会貢献			実施	会社近隣の公園の年2回の除草		会社近隣の公園の年2回の除草	○
売上高		百万円	—			—	

<備考> 達成→○印:達成 △印:ほぼ達成 ×印:達成できず

7 環境経営目標実績結果(グラフ)



8 環境経営目標実績結果(コメント)

当社は、平成9年12月24日に設立し、平成17年7月15日から建設業許可を取得して主に土木工事業を営んでおります。

環境破壊が社会的に年々問題となる中、当社も実施体制を構築し、環境方針、環境目標、活動計画を策定し、従業員にも周知させるとともに、その実施を促し、目標に向かって活動を開始しました。

ガスと水使用量は前回より削減できましたが、仕事量の増加により軽油の使用量が大幅に増えていきます。そのため化石燃料の二酸化炭素排出量は増加してしまいました。

電力、ガソリンに関しては、前回と比べほぼ横ばいで推移しました。



9 環境経営計画の評価と次年度の取組内容

環境への取組			具体的な取組内容	担当者	評価	次年度
①施工に関する取り組み			◆ 建設現場等周辺の自然との共生と調和の指向	堀内	△	継続
			◆ 建築物・工作物の長寿命化の指向		○	〃
			◆ 建築物・工作物等の使用過程でのエネルギーの削減と省資源化指向		△	〃
			◆ 再生資源の積極的利用		○	〃
			◆ リサイクルしやすいよう、建築物・工作物の構造の指向		△	〃
			◆ 購入する資材の仕様の変更による端材等の削減		△	〃
			◆ 環境負荷の少ない建築材の使用、建築材の使用合理化への取組(合板型枠等の木材の使用合理化、高炉セメント、エコセメント、再生素材の積極的使用等)		○	〃
			◆ 環境にやさしい施工や工法の採用		△	〃
			◆ 有害性の化学物質の含有量が少ない資材の使用		○	〃
			◆ 塩素系有機溶剤等の削減、代替物質への転換		△	〃
			◆ 地域の自然環境との調和に配慮し、生態系や景観の保全の指向		△	〃
			◆ 社用車について、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車等の低公害車への切り換え		◎	〃
			◆ 再生可能、有害性の化学物質の含有量が少ない等の建設資材等の購入		○	〃
②グリーン購入			◆ 環境ラベル認定等製品の優先的購入	堀内	○	〃
			◆ 省エネルギー基準適合製品の購入		○	〃
			◆ 再生材料から作られた製品の優先的購入、使用		△	〃
			◆ 間伐材、未利用資源等を利用した製品の積極的購入、使用		△	〃
			◆ 無漂白製品(衣料品等)、水性塗料等の環境への負荷の少ない製品の優先的購入、使用		△	〃
			◆ 修理や部品交換が可能で、部品の再使用、素材の再生利用が容易な設計の製品の優先的購入、使用		△	〃
			◆ 節水型の家電製品、水洗トイレ等を積極的購入		△	〃
			◆ コピー用紙、コンピューター用紙、伝票、事務用箋、印刷物、パンフレット、トイレトペーパー、名刺等の紙の生紙または未利用繊維への転換		△	〃
			◆ 事務所の照明は、昼休み、残業時等不必要な時の消灯	堀内	○	〃
			◆ ロッカー室や倉庫、作業休憩所、使用頻度が低いトイレ等の照明の普段は消灯し、使用時のみ点灯		◎	〃
			◆ パソコン、コピー機等のOA機器は、省電力設定		○	〃
			◆ 夜間、休日は、パソコン、プリンター等の主電源の切断		◎	〃
			◆ 空調の適温化(冷房28度程度、暖房20度程度)の徹底		◎	〃
			◆ 使用していない部屋の空調の停止		◎	〃
			◆ ブラインドやカーテンの利用等により、熱の出入りの調節実施		◎	〃
			◆ 夏季における軽装(クールビズ)、冬季における重ね着等服装の工夫(ウォームビズ)の徹底		◎	〃
			◆ 照明器具の定期的な清掃、交換を行う等の適正管理		○	〃
			◆ 空調機のフィルターの定期的清掃、交換を行う等の適正管理		◎	〃
			◆ 空調の必要な区域や時間限定の使用		△	〃
			◆ 電力不要時の負荷遮断、変圧器の遮断		△	〃
			◆ 外気温度が概ね20～27度の中間期における全熱交換器(換気をしながら、冷暖房の熱を回収して再利用する設備)のバイパス運転(普通換気モード、中間期制御運転、熱交換ローター停止)及び窓の開閉等により外気取り入れ量の調整による室温調節		○	〃
③二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	事務所	◆ 共用のコンピューター等の電源の管理担当者や使用上のルール設定による適正管理	堀内	△	〃
			◆ 建設現場の作業規模に応じた建設機械等の種類や規格を用いることによるエネルギー消費の抑制抑		◎	〃
			◆ アクティビティやアロー、フロート等の見直し、施工期間の短縮		○	〃
			◆ 運搬計画の見直し、エネルギー消費の少ない運搬の実施		○	〃
			◆ エコドライブ運転の推進(急発進・急停車の防止)		◎	〃
			◆ タイヤの空気圧を定期的な確認		○	〃
			◆ 施工方法や作業方法を見直し、エネルギーの効率的利用		○	〃
		工事現場	◆ 建設機械等の作業における過剰な負荷の抑制	堀内	◎	〃
			◆ 建設機械等の作業停止時におけるエンジン停止		◎	〃
			◆ 建設機械等の定期的自主点検及び施工開始時等における点検の実施		◎	〃
			◆ 建設機械等整備における環境に配慮した整備の実施		○	〃
			◆ 建設機械等の過積載運転の抑制の徹底		◎	〃
			◆ 建設機械等に使用する燃料やオイルの環境に配慮した製品の使用		◎	〃
④エネルギー使用量の削減、車両整備・管理			◆ 建設設備機器の無駄や無理のない運転の励行	堀内	◎	〃
			◆ 舗装工事の舗設で使用する散水用の水の排水路水や雨水等の利用		△	〃
			◆ 街路樹や公園緑化の植栽工事で使用する散水用の水の排水路水や雨水等の利用		△	〃
			◆ 手洗い時、洗い物における日常的な節水の励行		○	〃
			◆ 建設機械等の洗車する場合における事前の泥等の除去の実施		◎	〃
			◆ 洗車する場合の節水の励行(社用車の洗車を必要最小限に留める。)		△	〃
			◆ 水道配管からの漏水の定期的点検の実施		○	〃
⑤水使用量の削減			◆ 洗車等に使用するホースの先へのストッパー取り付け	堀内	◎	〃
			◆ 施工管理の出来型管理計画時における設計基準への上乗せした自主基準の設定による生コンクリートやアスファルト・コンクリートの廃棄の抑制		△	〃
			◆ 建設資材発注時における使用数量の再チェックによる残余建設資材の廃棄の抑制		○	〃
			◆ 施工温度の影響による品質劣化を防ぐため温度管理の徹底		○	〃
			◆ 品質劣化等による不良在庫を減らすための在庫数量の適正化等在庫管理の徹底		△	〃
			◆ 使い捨て製品(紙コップ、使い捨て容器入りの弁当等)の使用や購入の抑制		△	〃
			◆ リターナブル容器(ビール瓶、一升瓶等)に入った製品の優先的購入及び使用		△	〃
⑥廃棄物の削減、リサイクルへの推進			◆ 再使用またはリサイクルしやすい製品の優先購入及び使用	堀内	△	〃
			◆ 詰め替え可能な製品の利用や備品の修理等による製品等の長期使用の推進		○	〃
			◆ コピー機、パソコン、プリンター等のリサイクルしやすい素材を使用した製品の購入		△	〃
			◆ 商品の購入時における簡易包装の物の優先的購入		○	〃
			◆ 故障OA機器等の修理による長期使用の励行		◎	〃
			◆ 作業ミス削減による廃棄物の削減		○	〃
			◆ 中間処分場の選定見直し及びリサイクル業者の開拓		○	〃

<評価>◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

10 環境関連法規への違反、訴訟等の有無の実績と評価

評価日:2024/6/20

評価者:袴田直孝

環境関連法規に関して、下記の通り違反はありません。また関係者からの訴訟はありませんでした。

<環境関連法規等の遵守評価記録表>

法令等の名称		適用項目		遵守 状況	
有限会社袴田建設が遵守する法律等	法令	一般廃棄物収集運搬業者への委託処理		遵守	
		自らその産業廃棄物の運搬又は処分を行う場合の産業廃棄物の収集、運搬基準の遵守			
		生活環境の保全上支障のないように産業廃棄物の保管			
		産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託する場合の産業廃棄物収集運搬業者又は産業廃棄物処分業者への委託			
		産業廃棄物の運搬又は処分を委託する場合の委託基準の遵守			
		事業者の産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託する場合のマニフェストの交付			
		管理票交付者のマニフェストの保管(A票、5年間)			
		管理票交付者のマニフェストの写し(B1票)等の保管			
		管理票交付者の産業廃棄物管理票交付状況等の報告			
		産業廃棄物の収集運搬業の許可			
		産業廃棄物の収集運搬業許可の変更等			
		不法投棄の禁止 等			
		多量排出事業者の責務(産業廃棄物処理計画書及び実施状況報告書)			
		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	建設業者の責務(建設資材廃棄物の発生抑制、分別解体等及び建設資材廃棄物の再資源化等に要する費用の低減、建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材の使用)		分別の励行、リサイクルの推進
	対象建設工事受注者又は自主施工者の分別解体等の実施		解体工事-80㎡以上 新築・増築工事-500㎡以上 その他の工作物に関する工事(土木工事等-500万円以上)		
	対象建設工事の発注者又は自主施工者の対象工事の届出		発注者に工事計画等を説明し工事着手7日前までに県知事に届出書を提出		
	対象建設工事受注者の発注者への届出事項の説明				
	対象建設工事の請負契約に係る書面の記載事項		対象建設工事の請負契約の当事者は、分別解体等の方法、解体工事に要する費用等を書面に記載し、署名又は記名押印をして相互に交付		
	対象建設工事受注者の再資源化等の実施				
	対象建設工事の元請業者による発注者への特定建設資材廃棄物の再資源化工事等の完了報告				
	技術管理者の設置(解体工事の監督) 等				
	建設業法	国土交通大臣に対する一般建設業の許可の申請 等		〃	
	騒音規制法	空気圧縮機及び送風機:原動機の定格出力が7.5KW以上(冷凍機を除く)		〃	
	静岡県条例	静岡県生活環境保全等に関する条例		騒音基準の遵守義務	〃
				騒音特定施設の届出	
		静岡県産業廃棄物の適正処理に関する条例		事業者の産業廃棄物の適正な処理の促進に係る総合的な施策を策定、実施する責務	
				土地所有者等の自らの土地の適正管理	
事業者の産業廃棄物管理責任者の設置					
事業者の産業廃棄物の実地の確認等					
		事業者の産業廃棄物の不適切な処理に係る措置 等			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	産業廃棄物又は特別産業廃棄物の運搬実績の報告		〃		
事業者全般として遵守する法律等	法令	排ガス規制・オフロード法(特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律)		事業者及び使用者の責務(特定特殊自動車排出ガスの排出の抑制のため必要な措置の実施、国が実施する特定特殊自動車排出ガスによる大気汚染の防止に関する施策への協力) 等	〃
		循環型社会形成推進基本法	事業者の責務(廃棄物なることの抑制) 等	3Rへの努力(廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進)	
		資源の有効な利用の促進に関する法律(リサイクル法)	パソコンのリサイクル化	指定OA機器の適正処分(パソコン等の機器)	〃
		容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律(容器リサイクル法)	事業者の責務(分別排出の協力)	容器包装入り製品の販売	〃
		特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	自動車再資源化料金の再資源化等預貯金としての資金管理法法人への預託 等	廃棄時、有料(リサイクル券)にて適切な引渡し(TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコンの破棄)	〃
		国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	事業者の責務 等	事務用品のグリーン購入の推進	〃
		自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)	自動車の所有者の責務	自動車の廃棄・使用済自動車の引渡義務	〃
			使用済自動車のリサイクル(使用済自動車の引き取り業者への引き渡し)	廃棄時有料にて適切な引渡し	
		地球温暖化対策推進法(地球温暖化対策の推進に関する法律)	事業者の責務(温室効果ガス排出の抑制に努める)	温室効果ガス抑制措置 自治体施策へ協力	〃
		フロン排出抑制法(フロン類の仕様の合理化及び管理の適正に関する法律)	漏えいや故障等が確認された場合の修理を行うまでのフロン類の充填の原則禁止	フロン類の排出の抑制措置	〃
	簡易点検・定期点検	点検・整備の記録作成・保存			

11 環境コミュニケーション

毎月、工事の安全対策、実施に向けた会議を開催し、現場パトロールで得た情報から工事の安全性確保ならびに近隣の自然環境の破壊に繋がることのないような環境保全を考慮した工事計画を立てています。また、年に2度、恒例となっている近隣の公園の除草作業を通じて社会貢献への取り組みを行っています。

安全訓練

郷北児童公園

2024.6.6実施



12 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者による全体の評価と見直し

作成 2024年6月20日

報告者 環境管理責任者 若林尚美

1・見直し関連情報	項 目		確認 : (必要に応じて評価・コメント記載)	
	1	エコアクション21文書	☒	記録・文書として作成しました。
	2	環境経営目標及び目標達成状況	☒	CO ₂ 排出量は電力未達成、化石燃料未達成、電気増加目標値未達成、ガソリン・軽油未達成
	3	環境経営計画及び取り組み実施状況	☒	継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	記録に記載いたしました。
	5	外部コミュニケーション・対応記録	☒	記録に記載いたしました。
	6	問題点の是正・予防措置の実施状況	☒	別紙にて報告するようにします
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	☒	別紙報告の通り
	8	その他()	☐	

2・代表者による全体評価・見直し指示

当社は4月からエコアクション21の登録に向け、社員全員で節電、節水等を行い、二酸化炭素排出量の削減に取り組んでまいりました。また、事務用品等のグリーン購入にも力を入れております。

今回の運用期間と前年度を比較すると、売り上げが大幅に増加したため、軽油の使用量が増えています。しかし、電力やガソリンは横ばいで推移し、ガスと水の使用量は削減することができました。

業績の拡大と同時に燃料等の削減を目指すのは、なかなか困難ではありますが、今後においても、すぐに取り組める短期的な目標を実施するとともに、中長期的な目標も掲げ、その実現に向け従業員一丸となって取り組んでいきます

2024年6月20日

代表取締役 袴田 直孝

見直し項目		変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
1	環境経営方針	有 ☒ 無	
2	環境経営目標	有 ☒ 無	
3	環境経営計画	有 ☒ 無	
4	実施体制	有 ☒ 無	
5	その他のシステム要素	有 ☒ 無	
6	その他(外部への対応)	有 ☒ 無	